



よいことの
ために
手を取りあおう



RI 会長：フランчесコ・アレツォ

2620 地区ガバナー：稲葉 雅之

会長：齋藤 高子 幹事：植山 和人 会場監督：妻鹿 政光

例会：毎週金曜日 19:00 ~ 20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中央区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2025年8月29日（金） 晴 第1706回例会 週報 NO. 6

司 会：古賀 孝幸 副会場監督
点 鐘：齋藤 高子 会長
ロータリーソング

「手に手つないで」
ソングリーダー 山崎 雅裕さん
シェークハンド・タイム

会長挨拶



移動例会が何回か続きましたので、グランドホテルでの例会は久しぶりとなります。

ここ数回を振り返ると、8月の第1例会は浜松磐田信用金庫さんに訪問させていただきました。三輪副理事長と鈴木とも子さんのお陰で、なかなか経験できないことをさせて頂いたと思っています。

8月9日はアマモの勉強会ということで村櫛に行ってきました。浜名湖里海の会の方に大変お世話になり、船に乗って現状の浜名湖を見学させていただくという貴重な体験をしました。その時に参加された方の感想を、各テーブルにプリントしておいてあります。皆さんで共有したいと思いますので、御目通しください。

先週は座学による第2回のアマモ勉強会と夏の家族会をおこないました。ご参加ありがとうございました。

今日は渥美専治さんにこども食堂について会員卓話を頂きます。

私の母の実家が気賀なので、お盆にお墓参りに行った折に、外から見てきました。渥美さんの熱い思いと、眞瀬さんのセンスある建物でオープンしている時に寄ってみたいと思いました。

幹事報告



・配布資料・ロータリーの友

IM 報告書

・回覧・ガバナー月信

Rotary 誌

・来週はポリオ募金活動です。

・12月の地区大会及び米山梅吉記念館に参加お願いします。

・古着 de ワクチンは9月12日にも募集します。会社 de ワクチンにもご協力ください。

委員会報告

☆鷹尾 政夫 副会長

次週はポリオの街頭募金活動です。場所は遠鉄百貨店東口で、17時集合です。その後、遠鉄ビアガーデンでお疲れ様会を行います。青いビブスをお持ちください。



スマイル

♪齋藤高子さん・植山和人さん

先日のアマモ再生プロジェクトでは生態系への理解などの良い機会になりました。また夏の家族会へ多数ご参加いただき、楽しい一日になりました。今日は渥美専治さんの話、楽しみにしています。



♪川井啓介さん

ガバナー公式訪問に付き添い、一昨日でやっと9クラブ終了しました。各クラブの例会や会長幹事さんの意気込みには大変感心させられます。今後も頑張ります。



♪渥美専治さん

卓話の時間をありがとうございます。会社のパンフも置かせていただきました。



IM 実行委員長より

☆眞瀬悦邦 IM 実行委員長



先週の土曜日は多数のご参加ありがとうございました。総勢90人くらいで、意味深い勉強会ができたと思います。次回は11月で、実際にアマモの種を植えます。

9月に入ったら、IM 組織を作りますのでご協力をお願いします。

会員卓話

「子ども食堂について」



私の出身は九州の大分です。黒川温泉に近い山間に生まれました。高校から始めた剣道で身を立てようと思っていましたが、頑張りすぎて病気になり、8 か月入院しました。剣道の道はあきらめ、就職して来たのが浜松です。森の石松などのイメージで義侠心が強いという印象でした。32歳の時に会社を辞めて創業し、現在に至っています。

人生を大きく変えたのは盛和塾との出会いです。52歳の時、とある会合で隣合った方と話をし、それから福岡の盛和塾に月1回通うようになりました。今やっていることはこの稲盛塾長の影響が大きいです。心や徳を高めると人が付いてきます。社員を含め、世のため人のために尽くすことが人間として最高の行為です。人を助けると回りまわって自分も助かることになります。

活動を始める時は「動機は善か？自分の欲や名誉の為ではないか？」をよく考えて行動します。

こども食堂のほかに「みちしるべ」という活動もしています。「みちしるべ」というのは養護施設の退所者の就業支援をする活動で、12年になります。施設に来る子どもたちは虐待を受けて育ってきていて、就職しても長続きしません。子どもだけの問題だけでなく、雇用主も一緒に考えてほしいと、勉強会や就労体験などを行っています。

見ていて思うのはコミュニケーションの大切さで、こども食堂を始めるきっかけになりました。いろいろなこども食堂があり、ボランティアで手伝っていましたが、常設された場所で、小さい子どもの頃から見てみたいと自分で始めることにし、「気賀四ツ角」を作りました。子どもたちは食事のない日も毎日来て遊んでいきます。話をしやすい和室や図書コーナーも作りました。

今の子どもたちを見ていて感じるのは、すぐ答えを欲しがることです。自分で考えようとしません。質問したことに「答え何？」「何が言いたいのか？」と返ってきます。不登校の子も遊びに来ますが、学校はつまらないと言います。学校は画一化された教育をしていて個性を生かし切れていないと思います。また、「〇〇してはいけない」が多く、個性を削いでいるようです。何が何でもやるのではなく、周りを見ながら、やるようです。私は子どもたちに一生かけてする仕事を見つけてほしいと願っています。今は孤食の家庭も多いです。子どもたちにとって食堂はストレスを発散させる場所になっています。少しでもたくさんの子が「ここに来て良かった！」と感じて少しでも自分の力で進んでいけるようになってほしいと思います。

子どもは私にも良い影響を与えてくれます。エネルギーや気づきをもらい、体が若返ったと思います。

建物については、眞瀬さんに私の思いを伝えて出来上がりましたので、眞瀬さんから話をしてもらいます。

皆に思い出してもらえる場所にしたいということで、日本の伝統的な材料や工法で作りました。土壁は夏は涼しく、冬暖かいです。渥美さんの会社の耐震ダンパーも使用して安全面も大丈夫です。



SAA 司会 古賀孝幸さん



ソングリーダー 山崎雅裕さん



スマイル発表 妻鹿政光さん

出席報告

発表：藤本武洋 出席委員

会員数	38名
出席者数	25名
出席算定会員数	32名
出席率	78.13%

前々回出席者数
28名
前々回出席率
90.32%

